

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

ROTARY SERVING HUMANITY

～人類に奉仕するロータリー～

2016-2017年度 国際ロータリー会長 ジョンF. ジャーム



2016-2017年度

会長:高木一平 幹事: 柏木博喜 クラブ会報委員長:加藤智弘

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/ウェスティンゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551

事務局/TEL 052-684-6591 FAX 052-684-6592

2016 September 14

■ 2016～2017年度方針

ロータリー 清く 正しく 面白く

NO.10

例会報告

●第2143回例会 平成28年9月14日(水) 晴

●9月は基本的教育と識字率向上月間

●柴田幸男東名古屋分区ガバナー補佐訪問日

●ロータリーソング 我等の生業

●出席報告 会員 103 名中 (94) 出席71名

出席率75.53% 修正出席率82.47%
(8月31日分)

●ゲスト紹介

- ・柴田幸男東名古屋分区ガバナー補佐
(名古屋北RC)
- ・中村重嗣地区副幹事(岡崎RC)
- ・岡田邦義地区スタッフ(岡崎RC)
- ・朝倉淳一東名古屋分区幹事(名古屋北RC)

●ニコボックス

「本日、お世話になります。」

柴田幸男ガバナー補佐(名古屋北RC)

「本日、お世話になります。」

中村重嗣地区副幹事(岡崎RC)

岡田邦義地区スタッフ(岡崎RC)

「本日、お世話になります。」

朝倉淳一分区幹事(名古屋北RC)

「柴田ガバナー補佐、中村地区副幹事、岡田地区スタッフ、朝倉分区幹事ようこそおいでいただきました。よろしくご指導をお願い致します。」

高木一平会長、稲川 久副会長、柏木博喜幹事
「柴田ガバナー補佐、中村地区副幹事、岡田地区スタッフ、朝倉分区幹事をお迎えして。」

榎野智之君、小南速雄君、加治佐健二君
國分孝雄君、平木聖三君、林 邦司君

黒田史郎君、服部 滋君、梶田浩太郎君
田中正次君、浅野 洋君、南 喜幸君
桑山卓也君、野崎敏夫君、千住憲夫君
夏目 稔君、加藤智弘君、山村博伸君
加藤重和君、大森和仁君、小池康資君
増田靖憲君、小松佳史君、宮下幸二郎君
花橋日出夫君、石川一郎君、久保和彦君
近藤東臣君、渡邊泰幸君、山本秀樹君
亀谷喜敬君、石川雅道君、田中知克君
安井信之君、佐藤公俊君、加藤寿彦君
加藤一郎君、富島照男君、マスクリ・ニート君
久保哲政君

「先週の例会でテーブルに置いたケイタイが神隠しに
いました。周りの人から認知症扱いになりました。実
はテーブルのケイタイを通りがかりにポケットに2個も
持って気付かない人がいました。それも他人のケイ
タイで会話をしても気付かない人誰でしょうか。認
知症直前の親睦委員長の某氏です。皆さんご注意
を!! 12月の家族会が心配です。」 小南速雄君
「小南さん、先日はケイタイを間違えてポケットに入れ
申し訳ありませんでした。それにしても先生の様な高
額所得者の方が私と同じ最も安いケイタイカバーだと
はおどろきました。」 本多國泰君
「先週のワンの会で初優勝させていただきました。雨と
雷で中断ありの天候ではありましたが、榎野さん石川
さん内間さんと楽しく回ることができました。皆さん
ありがとうございました!」 山本秀樹君

本日のニコボックス 8件 117,000円
累計 47件 384,000円

柏木博喜幹事報告

▽当クラブ行事予定

- ・9月14日(水) 本日例会終了後、ガバナー補佐を
交えてクラブアッセンブリーを開
催致します。

※理事及び役員、各委員長、新入会員のご出席
をお願い致します。委員長ご欠席の場合は代
理の方のご出席をお願い致します。

- ・9月28日(水) 例会終了後、理事会を開催致します。

※理事及び役員のご出席をお願い致します。

- ・10月12日(水) ガバナー公式訪問日です。場所はウェスティンナゴヤキャッスルです。

※名古屋名東ロータリークラブ・名古屋東山ロータリークラブと合同例会で当クラブがホストです。

- ・10月22日(土) ワールドフード+ふれ愛フェスタの会場内で例会を開催致します。

※10月19日(水)ウェスティンナゴヤキャッスルでの例会はございません。

※詳細につきましては、地区からの連絡が入り次第、お知らせ致します。

高木一平会長挨拶

“ロータリーと宗教、ロータリー大使説”

ある理念や教義の元に人々が活動するという点においてはロータリーと宗教は似ています。両者とも世の中を良くし、人間性を高めることを目標としていることも共通しています。両者の最大の違いは宗教が神仏やその教義に対して絶対的帰依を要求する、つまり命を懸けて信仰を全うするのに対し、ロータリーはその理念は信奉するが、命を懸ける程ではないという点でしょう。

しかし、だからといって私はロータリーは宗教より一段低い団体である、などとは考えておりません。学べば学ぶほどロータリーは誠によくできた団体です。私見ですが、その理由を述べましょう。

- 1) 絶対的帰依の必要がなく、ハードルが低い。もちろん入会にはある程度的人格的経済的基盤が必要で、審査もあるが、精神的には宗教よりも入りやすい。
- 2) 一部の宗教と比べて理念が实际的、具体的で分かりやすい。四つのテストなどその最たるもの。本物の真理は単純で分かりやすい。
- 3) あらゆる宗教的対立を越えて世界中に違和感なく浸透する普遍性があり、宗教的タブーとも無関係。つまり全ての宗教者にも無神論者にも受け入れられる。
- 4) 一般の宗教と異なり、主に事業主や専門家が会員であり、会員の周囲には影響を受ける多くの人々がいるため、効率よく理念が伝わる。

以上から人々に怪しまれずに世の中を良くしていくために、ロータリーは大変優れた特性を持っているのです。

4番目の理由に関連してさらに言えば、ロータリーの

理念の一つに「ロータリアン大使説」というのがあります。ロータリアンは例会で自己研鑽に励み、奉仕の心を身につけ、職場に戻った時に「ロータリーから派遣された大使」として所属する業界に奉仕の精神をアピールする、というものです。これなど最もロータリーらしい伝道論です。自分の心の故郷を常にロータリーの中とするこの「大使説」には敬虔な信仰心に勝るとも劣らぬ強靱な意志を感じます。私にとってロータリー最大の魅力はこの「大使説」です。

卓 話

ガバナー補佐訪問ご挨拶



ガバナー補佐 柴田幸男 皆さん、こんにちわ、東名古屋分区ガバナー補佐の柴田幸男でございます。9月に入ったとはいえ、毎日蒸し暑い日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。

私は、「今日の運勢」を見るのが好きで、今日も自分の運勢を見てきたのですが、その中に「善心に染めつけば永久に良心は朽ちず」良き善導を受ける時と出ておりました。

びっくりしました!

これは、当クラブの高木会長方針の「清く正しい」心で、「超我の奉仕」を体現する。

つまり、人として事業家として日々「清く正しい心」で生きることは、ロータリーの「超我の奉仕」や「四つのテスト」の理念に通じるものであり、それが社会を善導する力となります。」と、全く共通する言葉でありましたので、びっくりし、又、感激した次第であります。

先程の会長・幹事懇談会でも、会長・幹事及び役員の方から「良き善導を受ける」事が出来ました事、感謝申し上げます。

さて、今日は、ガバナー補佐という立場でお話する訳でございますから、さっそく本題に入っていきたいと思っております。

まず、ガバナー補佐の役割でございますが、担当するクラブ(12クラブ)が「効果的に運営されるようサポートすることによって、ガバナーを補佐する」という事になっております。

それでは、「効果的に運営されている」という事はどういう事でしょうか?つまり、各クラブが「会員増強、奉仕活動、財団の支援、リーダーの育成」に積極的に取り組んでいるかどうかを見きわめ、そのクラブの弱い部分、又は困っている事をサポートしていくという事でございます。

更に今回のガバナー補佐訪問を含めて、定期的にクラブを訪問し、多くのクラブと交流する中でクラブが共通して抱えている問題を突き止め、解決へのさまざまなアプローチを提供いたします。

又、特定分野で成功しているクラブと、その分野で課題を抱えているクラブをつなぐ事が出来ます。定期的にクラブと連絡をとり、活動やプログラムの進捗状況を把握しておいて、ほかのクラブの成功例を紹介したり、クラブ間の協力を促(うな)がしたりいたします。

この様にガバナー補佐は地区とクラブとの間のコミュニケーションの橋渡しをする役割も担(にな)っていますので、なんなりとお申し付けいただければ幸いです。

さて、皆さん、ご存知のように今年度のRI会長のジョン・F・ジャームさんは、アメリカ テネシー州にあります チャタヌーガ ロータリークラブの会員であります。ロータリー財団100周年を記念して、アメリカへRI会長を持って来たのかどうか知りませんが、大変はりきってみえます。ジョン・F・ジャームさんは、毎週例会で集う一番の理由は、最も大切な目標、すなわち「奉仕」のためだと言っておられます。ロータリーの初期から、人類への奉仕はロータリーの礎(いしづえ)であり、主な存在理由となってきました。

さて、皆さんロータリー活動の基本が例会出席にあることは常に強調されている通りでございます。

それはなぜでしょうか。

例会はまず親睦を深めることを目的とし、そこから奉仕の理想を高揚することをねらっております。

では、どのような心理過程によって親睦から奉仕の理想が生まれ育つのでしょうか？

ポール・ハリスは自分の創ったシカゴのクラブの例会に出席すると「童心に帰る」ことが出来ると言っておりました。

では、なぜ例会に出席すると童心に帰るのでしょうか。

それはロータリーの例会には競争者はおりません。その理由は職業分類によって、原則一業一人ということでもありますから、目上の人も部下も家来も子分もおりません。職業分類という点から、みんな平等であり、しかも信用出来る人ばかりの集まりであるからであります。

競争心も警戒心もなくなった時、人間はその本性をとりもどして善意が溢れて来るのであります。

すなわちロータリーの例会は「その職業業務の忙しさにかまけ、緊張の連続のため」に、善意を発散出来にくい実業家・専門家の埋もれたその「善意」を発掘して高揚し、湧き上がった「利他心」を奉仕という方向づけをなし、これを実践に移す勇気を与えるのを目的とした会合であります。

ここに言う「利他心」とは奉仕という相手向きの方向のことであり、これに対して「利己心」という自分向

きの方向があります。

人間の両側面である利己心と利他心（公共心ともいわれる）とが、ロータリーの職業奉仕の理念によってはじめて両立することが証明されたのであります。

そして「四つのテスト」の理念が生まれました。

職業奉仕に成功したロータリアンはその「利他心」の意義と力を確信し、これは職業以外の生活の場、すなわち、家庭に、職場に、地域社会に広げる必要を痛感し、それが社会奉仕の理念として展開したのであります。

そこでRI（国際ロータリー）のテーマを“人類に奉仕するロータリー”とされました。

“人類（人々）に奉仕するロータリー”とは、どんなことでしょうか？それは、困っている人がいたら背を向けず、自分のできることをする、それが奉仕で、その結果、人が笑顔になることであります。

奉仕とは定義するものでなく、笑顔でない人を笑顔にすること。そのためには、我々ロータリアンが笑顔でなくてはいけないと言うことです。

それがFellowship（親睦）であります。そして、人を笑顔にするにはロータリアンは、高潔性を持ち、多様性を受け入れる寛容さを持ち、リーダーシップ（問題を分析し、企画アクションを起こす。）を発揮しなければならぬと言っておられます。

又、強調事項として

①奉仕の率先躬行(きゆうこう)

なぜ遂行ではなく躬行かといいますと、躬行とはみずから進んで行うことであり、我々ロータリアン一人一人が自ら進んで奉仕を行うということでもあります。

②ポリオ撲滅の最終章

ポリオ撲滅の実現まで本当にあと少しです。南アジア全域、アフリカ全域がすでにポリオフリーとなっています。

野生型ウィルスの温床となっている最後の地域はアフガニスタンとパキスタンにまたがっており、ポリオの常在国はこれらの二ヶ国を残すのみとなっております。

今年がポリオ発症の最後の年となるよう全力をつくすということです。

③ロータリーブランドの認識と実行を掲げておられます。

ロータリーのブランド（中核的価値）

親睦 高潔性 多様性 リーダーシップ 奉仕	再認識し実行していくという事でございます。
-----------------------------------	-----------------------

それを受けて、当2760地区の服部良男ガバナーは、地区方針を

「Be The Rotarian Find A Rotarian」

～真のロータリアンになろう、ロータリアンを見つけよう～ とされました。

(つまり)

- ①ロータリーのブランドを認識し。
- ②人道的奉仕活動に参加し、人を笑顔にする。
- ③仲間と一緒に奉仕活動をし、ロータリーのブランドを地域の人に伝え、新しいロータリアン、仲間を見つけましょう。

と言っておられます。

RI2760地区は、日本でも最も活性化している地区の1つであります。RI2760地区の特徴として、①地区委員会の奉仕活動は非常に活性化している。②又、先進的に新しいRIプロジェクトに取り組んできました。(しかし)、課題として、地区内83クラブの奉仕プロジェクトや活動内容がオープンになっておりませんので、他のロータリークラブやロータリアンと共有できていないものが多いと言うことであります。

又、各ロータリークラブでの奉仕活動が地域の人々に十分に広報されていないので、ロータリーのブランドが認知されていない、と言うことがあげられます。

つまりロータリーの公共イメージの向上が急務だと言うことです。

(そこで重点戦術として) 服部ガバナーは、3つの事を掲げてみえます。

- ①My Rotaryに登録し、ロータリーのブランドを再確認し、ロータリー財団が100年間人を笑顔にしてきたコトを学び、積極的にこの地区の人道的奉仕活動を投稿する。
- ②Club Centralに各クラブのデータや情報、奉仕活動、目標計画を登録し、地区内の各クラブがどのような奉仕活動や良いコトをしているかお互いに学ぼう。
- ③ガバナー、地区委員会、各クラブでソーシャルメディアを利用して、奉仕活動や人の笑顔をロータリアンで共有し、地域の人々にロータリーのブランドを知ってもらおうということを掲げてみえます。

(なぜ、今、ソーシャルメディアか?)

我々ロータリアン一人ひとりがメディアになることができる。という事です。しかし、今すぐに全員にマイロータリーに登録して下さい。という事ではありません。3年間の戦略計画に基づいて、徐々に進めていくものであります。

又、従来から利用して来た、新聞、テレビ、ラジオ等のメディアを否定するものでもありません。それらも従来通り有効に使い、今まで使っていなかったソーシャルメディアも使って行こうと言うものであります。

そこで皆さんにお願いがあります。入会1年未満の会員の方は全員、全体では50%をめざして、皆さんぜひとも、マイロータリーに登録して下さい。そうすればロータリーの色々な事を知る事が出来ます。又、自分達がした奉仕活動を投稿することも出来ます。

もし、登録の仕方が解らなければ、クラブへ地区の公共イメージ向上委員会のメンバーが、いつでもお伺い致しますので、遠慮なく、おっしゃっていただければ幸いです。

これらを実行していく段階において、会員の皆様には、戸惑い等もあるかと思いますが、ご協力の程、よろしくお願い致します。

このように服部ガバナーは、オンラインツールとソーシャルメディアの活用を今年度地区の最重点課題とされていますが、ロータリーの五大奉仕(クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、新世代奉仕)を忘れていたわけではありません。これらはロータリー活動の指針でございますので、当然力を入れていくということでもあります。又、ガバナーの方針はこれら五大奉仕にも全て通じるものであります。

名古屋和合ロータリークラブの会員の皆様には、これから一年弱なにかとお世話になりますが、よろしくお願い申し上げます。



例会	月日	今後の予定
第2144回	9.21	クルーズ専門旅行会社 社長 東山 真明氏 「クルーズの楽しみ方」
第2145回	9.28	高橋 弘恵さん 「チャイルドラインの活動について」
第2146回	10.5	米山奨学生 朴 恩眞さん 「米山月間に因んで」
第2147回	10.12	国際ロータリー第2760地区 服部 良男ガバナー公式訪問日 (名古屋和合・名東・東山RC合同例会)
第2148回	10.22 (土)	WWF参加の為例会変更 (10/19(水)の例会はございません)

○このウィクリーは再生紙を使用しております。